

とんがらし通信

ドラムで

ほっや息つく

初夏の風♪



No. 228



～主な内容～

- ・施設長コラム
- ・マリンピアコンサート
- ・活動報告(ピクニック、ふれあいコンサート、春コレ)
- ・研修報告 ・職員コラム など

仙台つどいの家編集室
発行責任者 山口 収
発行日 2017年7月25日
〒983-0836 仙台市宮城野区幸町3丁目12-16
Tel 022(293)3751 Fax 022(293)3752
E-mail sendai@tsudoinoie.or.jp
ホームページ <http://www.tsudoinoie.or.jp>



あの事件から学ぶべきものは 巻

暑い暑い夏がやってきました。仙台つどいの家では海辺やプール・水族館に出かけたり、駐車場に打ち水をして涼んだり、休日開館日にバーベキュー大会をしたり…暑い夏をたっぷり堪能しようと、いろいろな活動を行なっています。昨夜は活動時間をずらして、涼しげなスケートショー『ディズニー・オン・アイス』を観に行った利用者さんもありました。また昨年度に引き続き、大盛り上がりの『夏まつり』を開催しようと、利用者さん・職員ともに準備に余念がありません。その盛り上がりを見ながらふと考えてしまうのです。目の前の平和な光景の一方で、相模原で起こったあの凄惨な殺傷事件からもうすぐ1年を迎えます。

この事件は戦後最悪の殺傷事件としてこれまで多くのメディアに取り上げられてきました。『措置入院を解除された4か月後の犯行＝措置入院制度の不備』、『施設・事業所の防犯意識・防犯体制の欠如』、『被害者名の非公表の是非』などその切り口はさまざまですが、各社とも共通しているワードは、被告が言い放った『障害があつて家族や周囲も不幸だと思った』『障害者は不幸しか作れない』という言葉です。『何も生み出さない障害者はいない方が良い』という趣旨の発言をこれまで被告は繰り返してきました。これに対ししょうがい当事者はもちろん、家族や支援者は非常な恐怖と憤りと悲しみを覚えました。そしてその思いは、1年たった今も多くの方の中に深く重く積み重なっているのです。一方で被告のこれらの発言を肯定する一部の人たちがいるのも事実です。事件直後からSNS上でこの犯行を称えるような投稿が少なからず寄せられました。多くは現代社会の特徴である『匿名性』や『情報過多』と本来誰もが持っている『小さな差別意識』が結びついた結果だと思いますが、現在の我が国の社会構造の歪みも大きく関係しているように感じ、恐怖を覚えます。

これらのヘイトスピーチに対して我々はどう向き合えばよいのでしょうか。先日読んだ文章には『差別に対しては同じ土俵に上がって対抗しない方が効果的。「障害者はいらない」という発言に対して「しょうがいのある人も社会の役に立っている」と対極の言葉を返したのでは溝は埋まらない』と書いてありましたが。。私などは短腹なので、すぐムキになってしょうがいのある方の存在価値などを声高にがなり立ててしまいます。しかし、社会や一部の人々の考え方を変えていくためには、繰り返しくりかえし伝えていくしかないように思います。私たちが一緒にいる方たちは、自ら言葉で伝える力はとてもとても弱いかもかもしれません。でも、存在そのもので、社会に地域に、いろいろなことを示してくれます。日々の関わりの中で体験したそうした一つひとつのことを、私たちは丁寧に伝えていくことが必要なのではないでしょうか。

以前にも書きましたが、科学の発展により我々は新型出生前診断という『命の選択』をすでに持ってしまいました。報道によると胎児に何らかの異常が見つかった妊婦の9割以上が中絶を選択しているといえます。この事件と直接的には関連はないかもしれませんが、少なくとも『しょうがいがあることは不幸だ』とか『しょうがいのある方たちは何もできずに消費するだけの存在だ』といった考え方が社会の一部にでもあるのだとすれば、しょうがいのある方たちと深くふかく関わっている私たちが、本人の存在とともに伝え続けていくことが必要だと思います。『幸せ』とか『不幸』とかいうものは、誰かに決められるべきものではないと思うのです。

そういった意味でも、この事件が社会に投げかけるものは非常に大きいと思います。多くの課題を抱えたこの事件を決して風化させることなく、議論を続けなければなりません。

(管理者 山口 収)

マリンピアコンサート

6月16日(金)にマリンピアさんを招いてコンサートを開催しました!マリンピアさんは丹野富美子さん(マリンバ担当)と吉田彩さん(ピアノ担当)による演奏ユニットです。

当日は利用者と保護者だけでなく地域の方も演奏を聴きに来てくださり、ホールに入りきれない程の人でした!曲目は「ぞうさん」や「犬のお巡りさん」等の童謡から「アメージンググレース」などのクラシック、トロメドレーまで幅広いジャンルを披露していただきました。童謡では知っている曲も多く、踊ったりリズムに合わせて手拍子をしたりなど皆さんそれぞれに楽しんで聴いていました。



アンコールの「幸せなら手をたたこう」ではみんなで手を叩きながら会場全体が一体感のあるあたたかい雰囲気になりました!

マリンピアの丹野さん、吉田さん素敵な演奏を本当にありがとうございました!またお待ちしております☆

(記:今川)



ありがとうございました!



グランディーでピクニック

5月31日(水)に、さんしょグループでグランディー21へピクニックに行ってきました。遊具で遊んだり、芝生にブルーシートを敷いて横になって休んだり、思い思いの時間を過ごしました。表紙にも登場した、庄司篤史さんはブランコに乗り、とってもニコニコ♪ブランコの揺れに合わせて足を動かして、漕いでいました。後藤彩也佳さんもブランコに乗り、風を感じて気持ち良さそうでした。千葉健祐さんは、職員と一緒に滑り台に乗りました。早いスピードで風を切り、ニコニコ笑顔でした。



佐々木七恵さんと長岡美空さんは、木陰で横になり、身体を伸ばすと、気持ち良さそうにリラックスしていました。

昼食は、みなんでお弁当を食べました。早川奈津子さんは、お母さん手作りのサンドイッチ弁当!!外で食べるお弁当は一層美味しかったようで、何度もおいしい〜👏と手を上げるサインが見られていました。

おいしい空気と、美味しいお弁当、きれいな景色を体中で感じ、身も心もリフレッシュ!!できたさんしょグループでした。(記:佐藤唯)

杜の都ふれあいコンサート

6月27日にサンモール一番町商店街にて行われた、仙台市消防音楽隊による杜の都ふれあいコンサートに行ってきました。参加者は全部で7名。旭ヶ丘駅まで車で行き、そこから仙台駅まで地下鉄に乗って移動しました。車椅子の利用者さんも、親切な駅員さんがスロープを準備してくれ、乗り降りもスムーズでした。駅構内も迷うことなく移動でき、地下鉄車内ではみなんで和気あいあいと過ごしていました。会場に到着すると、消防音楽隊の方々が既にスタンバイしており、利用者さんのテンションも上がり、ソワソワ落ち着かない様子でした。

コンサートが始まると、演歌メドレーや情熱大陸など知っている曲も多くあり、手を叩いて喜びを表現したり、静かにじーっと聴いたり、演奏者の近くまで行ってノリノリで踊ったりと利用者さんによって反応は様々でしたが、皆さん大満足な様子でした。あっという間にコンサートも終了し、帰りはロフトの大戸屋でランチをして帰ってきました。利用者さんの新たな一面が見えた、とても楽しい外出でした。ふれあいコンサートは10月まで毎月1回開催しているので、またみんなで行きましょうね♪(記:櫻井)



平成 29 年 社会福祉法人つどいの家 非常勤研修

6月30日(金)、法人内の非常勤職員を対象とする研修が行われました。これは法人の設立記念日に全事業所を休館にして行うもので、今年で3年目です。当日は、全事業所から非常勤職員79名が集まり、午前中は全体会・午後は分科会という流れで研修が行われました。1日の研修でしたが、参加者の皆さんは日頃の自分自身の支援を振り返るきっかけになり、学びの多い、有意義な時間を過ごす事ができました。参加者の中から、いくつか感想を紹介したいと思います。

全体会：「重いしょうがいのある人が地域で生活するために」
～東日本大震災発生から、全国の支援を受け、復興に至るまで～

今回の全体会の理事長のお話では、東日本大震災当時の利用者の方の様子や、その状況に対応する職員の支援の様子を知ることができました。そして、地域の方や全国で同じ志を持って活動されている方々からの支援を受けて今があることも知りました。人の繋がりは大切でありがたい事なのだと思います。

(めいぶる支援員：木村栄子)

第2分科会：「シーティングについて」

担当講師：田山 OT(つどいの家コペル) 小田中 OT(ぴぼっと支倉)

ワールド・カフェ形式で行われた分科会は、他事業所の非常勤職員とも交流することができ、たいへん有意義な時間となりました。椅子を利用する場合と車椅子を利用する場合の両方の視点から座位保持について考えることができました。特に、食事の時は、姿勢が悪いと誤嚥の危険性があるので注意したいと思います。食器を持って食べる、身体にあった椅子や机の高さ、身体にあった車椅子を使用する等、環境を整えてアプローチすると、声掛けだけより効果があるのではないかと今回の分科会で改めて確認できました。姿勢が崩れていることに気づき、そのことを職員で共有できるよう努めていきたいと思います。

(もみじ支援員：遠藤都子)

“春のつどいコレクション、開幕です!”

昨年、とんがらし通信3月号で「つどいの中心で性を叫ぶ(通称:つど中)デート体験」と題し、性の勉強会の取り組みを報告させていただきました。つどいに通所する、好きな人と会う、おしゃれなレストランに行く…どんな場面でも“身だしなみ”って大切ですよね。ということで、6月19日に楽しく身だしなみを考えようというコンセプトで「春のつどいコレクション」と題したファッションショーを行いました。当日は各グループから6名の皆さんが参加しました。玄関前の廊下をランウェイに見立



て、それぞれお気に入りの一曲で入場です。さんしょグループの長岡美空さんは「アナと雪の女王」の青いドレスを身に着け、王子様に扮した職員と堂々とランウェイを歩きました。皆さんから「素敵だね～」と声を掛けてもらい、嬉しそうな笑顔を浮かべていました。つど中も今年で3年目となり、性の支援についてまだまだ模索中ですが、取り組みを一つの形にして発信することができました。「つどコレ」が少しでも自分の身だしなみを見直すきっかけとなれば良いなと思います。第2回開催に乞うご期待…?

(記:伊達)

☆職員コラム☆

8年ぶりに仙台つどいの家へ戻ってきた しとうさとる 志藤悟さん

前に所属していたグループとは違うグループに配属になり、8年目にして新しい事にチャレンジしている最中です。徐々に仕事の流れが見えてきていますが、まだまだ流れがつかめていないことも多く、覚えながら仕事をしている毎日です。

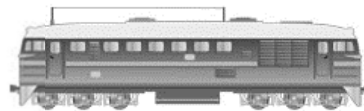
去年まで職場まで650mしか離れていなかったのですが、現在は8,5kmと10倍以上の距離を通勤しております。原付なども考えたのですが、渋滞でも関係なしに通勤できるということで自転車通勤にしました。最初の頃は通勤するだけで足がガクガクしていましたが2ヶ月経ち、体力が付いてきたのか、通勤も大分楽になりました。

同じ法人ですが、行事等少し違っているので、新しい気持ちで再スタートして新人だった時の気持ちを思い出しながら新しい職場で仕事をしていきたいと思っております。

今後も自転車通勤は行っていきます。雨の日はレインコートを着て通勤ですが、台風と雪の日だけはどうしようか、今から頭を抱えています。^^;

こんな私ですが、よろしくお願い致します。(記:志藤)

景観の旅～山寺～



「電車に乗るのが好き」「景色を見るのが好き」「歩くのが好き」という希望で、山寺に外出してきました。当日は天候が良すぎるほどの快晴!! 阿部元就さんは、電車の窓に流れる町並を指でチェックし、徐々に緑が多くなる風景に少し困惑した表情の中、準備した写真カードを何回かチェックしていました。歴史に触れることを楽しみにしていた佐藤咲子さんは、車内で山形



についての話をしながらお客さんに「仙台から来ました」とアピールしていました。山寺駅に着き、近くのお店で涼みながらお腹を満たして、いざ参拝。元就さんは勢いよく駆け出し上って行くと、先の見えない階段に途中で足を止め遠くを見つめていました。頑張っていた咲子さんは途中から疲れ、休憩をはさみつつ他の参拝客に話しかけていました。それぞれのペースで五大堂まで行き景色を眺め、風を感じて2人ともリフレッシュしました。序盤は笑顔が多く見られていましたが、後半は疲れも見られた2人。ひとつ新しいことにチャレンジした事で、大きな経験になったと感じました。これからももっともっと2人を知っていきたいと思う機会にもなりました。(記：鈴木)

法人設立 25 周年企画

フルウォーキング情報

「フルウォーキング」が仙台つどいの家に到着しました。

「フルウォーキング」は、法人設立25周年をお祝いして、法人の事業所間を寄せ書きをした旗を持ってリレーするイベントです。総距離が約42kmとフルマラソンと同じくらいなので「フルウォーキング」と名付けました。実際歩いて計測してみるとだいぶオーバーしていたというオチもありましたが、これまで順調に進んできました。6月20日(火)にぴぽっと南光台から到着した旗は、翌日から仙台つどいの家利用者とともに歩き出しました。途中、今年絶好調の楽天イーグルスの本拠地でもあるKOBOパーク宮城をルートに入れ、毎日少しずつ5つのグループの利用者が入れ替わりながら歩きました。ちょうど一週間後の6月27日の午後、旗は無事ピボット若林へ到着しました。

参加したメンバーは、「フルウォーキング楽しかったです」「旗を届けたよ」などやり遂げた嬉しさを話していました。

初めての試みではありましたが、良い思い出になったことと思います。皆さんお疲れ様でした。(記：佐々木)

*フルウォーキングの進捗はHPでもご覧いただけます! <http://www.tsudoinoie.or.jp/>で検索!





スケジュール schedule

8月

- 3日(木) 生け花
- 5日(土) 夏まつり
- 7日(月) 給食提供お休み
- 9日(水) アロママッサージゆるっと
- 10日(木) 音楽療法
- 11日(金) 山の日
- 14日(月) 夏季休館(～15日)
- 17日(木) 施設懇談会
- 23日(水) アロママッサージゆるっと
- 24日(木) 防災訓練 音楽療法 生け花
- 30日(水) 5・6級研修
- 31日(木) ケース会議(13:30 降所)

9月

- 4日(月) こすもすの会ミニコンサート
- 8日(金) ふれあいセール
- 12日(火) 法人日中活動合同作品展
(東北電力グリーンプラザ:～18日)
福祉プラザ販売会
- 13日(水) 内部研修
- 14日(木) 音楽療法
- 15日(金) 宮文販売会
- 18日(月) 敬老の日 休日開館日
- 19日(火) 施設懇談会
- 20日(水) 職員会議
- 23日(土) さいわいふれあい講座
- 28日(木) 音楽療法
- 29日(金) ケース会議(13:30 降所)

ご協力ありがとうございます

ボランティアとして協力して頂いた皆様

(5月9日～7月13日まで)

吉田さん、シルビアさん、正司さん、京子さん、寺元さん、菅澤さん

実習生

保育士実習：曾根さん

介護等体験実習：小松さん

明成高校実習：平間さん、村山さん

見学・来訪者など

佐藤さん、折原さん、鶴谷特別支援学校：金井教諭、東北文化専門学校、明成高校：支倉教諭、みのり会、マリリンピア：丹野さん・吉田さん、北部アーチル、高知県知的障害者福祉協会、アロマDE すまいる、ゆるっと、リーの会交換研修：成田さん・小室さん・村田さん、仙台市：郷古部長・伊藤課長・古澤係長、小松島支援学校：田中教諭、光洋愛成園、生け花：濱谷さん、音楽療法：向井田さん・菊池さん、アドフォート：島田さん・久保田さん、バイタルネット、サラヤ、富士ゼロックス、大東住宅、日本テクノ、ジェイシーアイ：瀬戸さん、千葉出版印刷、共栄防災、ホシザキ東北、仙台大気堂、日立キャピタルオートソース、愛さんさん宅食株式会社：齋藤さん、小田島アクティ、今庄青果、マルキ水産、マルイ、サトー商会、鈴木米穀、ダスキン、日産サティオ：高橋さん・相原さん、まんさく工房、フォーレスト、風の郷、パルサー
法人職員：福地、檜山、小原、佐藤亜、大累、高杉、山添、佐吉、蜂谷、ほか多数。(以上、ご芳名順不同)

缶回収

5月、6月の納品額

合計 7,030 円でした。

ご協力有難うございました。



編集後記

利用者さんとの活動の中でよく散歩に行くことがあります。少し前までは上着を着て、風が吹くと肌寒くて嫌だなと感じていたのに、今では暑さの中に吹く風が心地よく感じられ、風が吹くのが待ち遠しくなってきました。利用者さんも、目を閉じたり、手を前に出したりと風の楽しみ方は様々です。短い夏ではありますが、熱中症に気を付けながらどんどん外に出て、風に癒されたいです。(記：高橋杏)